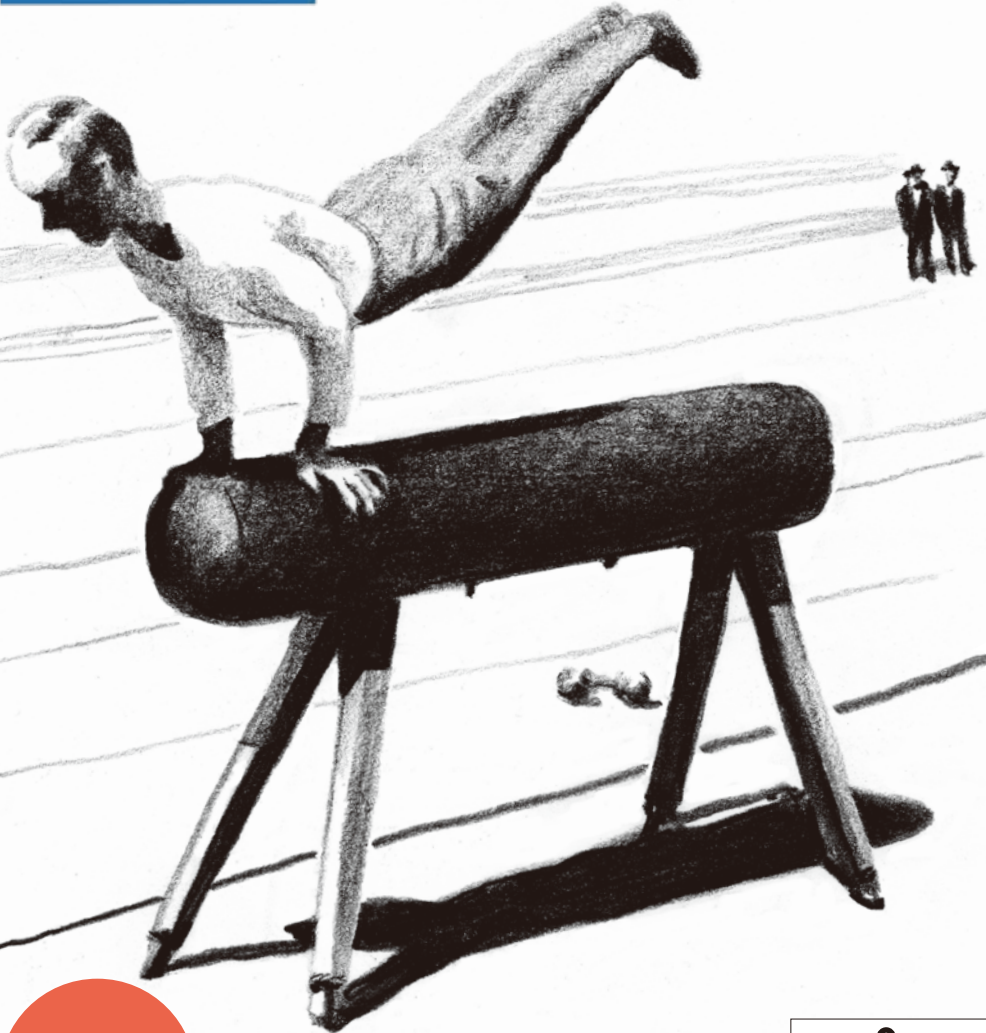


Sport  
Godzilla®

# スポーツ ゴジラ®

第 63 号

特集  
2024パリオリパラは燃えているか？



無料



スポーツ振興くじ助成事業

「ゴジラ」は東宝株式会社の登録商標です。  
『スポーツゴジラ』は、日本スポーツ学会が  
商標使用の許諾を受け、スポーツネット  
ワークジャパンが発行しています。

2	第63号を発刊するにあたり	長田 渚左
	■特集■	
	「2024パリ オリパラは燃えているか？」	
4	日本の卓球はなぜここまで強くなったのか?! —— 福原愛×西村卓二	構成 佐藤 修
20	ハンドボールはなぜ36年ぶりに オリンピックに出場できたのか?!	杉山 茂
25	パリ大会はバスケットボールも バレーボールも見逃せない	小川 勝
32	車いすラグビーをぜひ見てほしい —— 福井正浩	取材・構成 長田渚左 首藤正徳
38	『走』第10回 競走は、なぜ「陸(の)上(の)競技」と呼ぶの?	玉木 正之
39	夢劇場『馬』No.35「馬が翼をもつために」	長田 渚左
40	バックナンバーのご案内	

南 伸坊 表紙のつぶやき

「1900年の第2回オリンピック パリ大会の頃、体操競技も野外でされてたらしいです。当時のあん馬は4本足でより馬っぽいですね。」

スポーツネットワークジャパンHP <http://sportsnetworkjapan.com/>  
バックナンバー第43号～60号はホームページからもお読みいただけます。

『スポーツゴジラ』は、種目を問わずスポーツそのものの魅力や  
価値を語るスポーツ総合誌（フリーペーパー）です。

## 第63号を発刊するにあたり

編集長 長田渚左



人類の歴史は戦争の歴史でもある。誰もが愚かな争いに絶望し、戦争だけは避けたい、やめたいと願っているはずなのに、今も連日のように世界のあちこちから爆撃のニュースが届く。

日本スポーツ学会と本誌『スポーツゴジラ』を刊行するスポーツネットワークジャパンでは、オリンピックの平和運動を尊重して、20年以上前からオリンピック・パラリンピック期間中の『オリンピック休戦』を世界に呼びかける署名活動を行ってきたが、無力感に苛まれるばかりだ。

近年のオリンピックは、肥大化による巨額経費や利権構造、ドーピング問題などのデメリットが目立つようになってきた。

そんな中、唯一の希望が、ひたむきにベストを尽

くそうとするアスリートたちの、純な姿である。

人生をかけて競技に打ち込み、ライバルと切磋琢磨し、重圧に立ち向かい、笑い、涙を流す……。その姿は国籍や人種を越えて人々の胸を打つ。そこに私は世界を変えうる、一条の希望の光を感じてきた。今年のパリ・オリンピックでは、個人的に日本のボールゲームに注目している。特に日本男子はバスケットボールが48年ぶり、バレーボールが16年ぶり、ハンドボールが36年ぶりに出場を決めた。

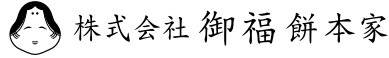
選手個人の活躍以上にチームプレーに期待が膨らむ。人と人とのつながりと信頼がもたらす相乗効果は、チームスポーツの醍醐味で、スポーツの秘めた可能性を感じさせてくれるからだ。

だからこそ、あらためて『オリンピック休戦』を呼びかけたい。紛争や戦争を止めて、思い切りスポーツをしよう、見に行こう。そんな人が世界に一人でも増えたなら……。今回もそんな願いを込めてオリンピック・パラリンピック開幕を待っている。

ご協賛およびご協力企業・団体



WOWOW



人と社会を支える力

文藝春秋



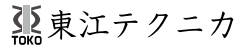
三井住友海上



株式会社東美物流



JWCPE 日本女子体育大学



(順不同)

**2024** **パリ** オリパラは燃えているか？

# 日本の卓球はなぜここまで強くなったのか？！

パリ・オリンピック(五輪)が7月26日に開幕する。全32競技の中で卓球日本女子の金メダルに期待が高まっている。正式競技に採用された1988年ソウル大会以降、男女数々の種目で優勝してきた中国の牙城を、21年東京大会の混合ダブルスで伊藤美誠、水谷隼組が崩れて初めて頂点に立った。パリ大会では3大会連続でメダルを獲得している女子団体が悲願の金メダルが期待される。そこで日本スポーツ学会では『第128回スポーツを語り合う会』に04年アテネ大会女子日本代表の西村卓二監督と、五輪メダリストの福原愛さんを招き、『なぜ日本の卓球は強くなったのか』をテーマに卓球ニッポンの成長について聞いた。

司会 長田渚左／構成 佐藤 修



(写真・山内亮治)

**福原 愛**(ふくはら・あい) 1988(昭63)年、仙台市生まれ。早稲田大学中退。3歳9カ月から卓球の英才教育を受け、4歳で全日本選手権バンビの部(8歳以下)16強。5歳10カ月で同選手権バンビの部で史上最年少優勝し、その後3連覇。8歳でカブの部(10歳以下)優勝などジュニアのタイトルを総なめ。10歳でプロ宣言。03年、14歳6カ月の史上最年少で世界選手権の代表入り。同年世界選手権のシングルスで8強。オリンピックは15歳で初出場した04年アテネ大会でシングルス16強、08年北京大会はシングルス16強、団体4位。12年ロンドン大会はシングルス8強、団体銀、16年リオデジャネイロ大会はシングルス4強、団体銅。18年10月に現役引退。現在はomusubi代表取締役。

**西村 卓二**(にしむら・たくじ) 1948(昭23)年、兵庫県生まれ。6歳で富山県に移り、小学生の時に卓球に出会う。富山商業高校時代に北信越大会で優勝。全日本ジュニア選手権でも8強入り。高校卒業後に会社員として社会人生活を2年間経験。その後、中央大学に進学。卒業後、富士短期大学(現東京富士大学)の職員となり、教員をへて教授となる。72年から同大学の卓球部監督として51年間指導し、24年3月に退任した。01年10月に女子日本代表監督に就任。積極的に若手を起用して04年世界選手権ドーハ大会では団体銅メダル、同年アテネ・オリンピックでは女子出場全選手シングルス16強、ダブルス8強に導いた。

## 20年ぶりの再会 熱血監督と天才卓球少女

福原は94年、まだ幼稚園に通う5歳の時に、小学生を倒し全国大会で優勝。その後、ジュニア、一般の部とカテゴリーを飛び級して次々と国内タイトルを獲得。10歳でプロ宣言してミキハウス所属選手として大阪に拠点を移した。その福原を12歳の時に、ナショナルチームに抜擢したのが、富士短期大学（現東京富士大学）での指導力が評価されて01年に代表監督に就任した西村監督。その後、03年アジア選手権、03年パリ世界選手権そして04年アテネ五輪などの国際試合に積極的に起用して、世界への道を切り開いた。

——お二人は04年アテネ五輪で監督と選手として戦いました。お会いするのは久しぶりですか？

**西村** 久しぶりですね。私は福原のことを新聞やテレビで見えていますけど、こうして対面で会うのは20年ぶりですね。元氣そうで良かったです。

——福原さん、約20年前になりますが、西村さんはどんな監督でしたか？

**福原** 普段はすごく厳しいけれど、厳しさの中に、温かさがある、叱る時も選手への愛情が感じられる監督です。熱血指導でしたが、勿論、殴られたことなんて一度もないです（笑い）。

オリンピックの女子団体で日本は12年ロンドンで銀メダルを獲得して初の表彰台上がり、16年リオデジャネイロ、21年東京と3大会連続でメダルを獲得。今回のパリ大会は中国が「大魔王」と呼んで警戒していた伊藤美誠でさえ代表入りできないほど、日本女子の選手層は厚くなっている。

——まずはパリ五輪の日本代表が決まりました。男女メンバーを見ていかがですか？

**西村** 今回の女子代表は日本のベストメンバーだと思います。技術的にも体力的にも中国にかなり近づいていると感じます。しかし、中国ばかりを追いかけるのも危険です。他の国にもそうそうたるメンバ



パリオリンピック男女代表6人(写真・卓球王国より)

ーが揃っています。特に男子はパワーのある強敵がいますからメダル獲得は簡単ではないですね。

**福原** 今回のメンバーは男女ともにすぐく年齢が若いですよ。張本美和選手が15歳、男子もみんな20代前半です。若いだけに本番では選手それぞれ気持の作り方、心のバランスが戦いの鍵になると思

います。上手く調整をして欲しいです。

——卓球王国と呼ばれる中国は四半世紀にわたり、五輪や世界選手権で男女全ての種目で圧倒的な強さを誇っています。福原さんが感じる中国の強さとは何でしょうか。

**福原** まずは体格が全く違いますね。中国の女子選手はみんな身体がとても大きいですね。身長も私より20cmくらい高く、パワーがある選手ばかりです。そして五輪など国際大会でプレッシャーに強い。重圧がかかる場面でもしっかりと実力を出し切る。中国選手の技術、精神、戦術などをポイント別に図表にしたら全ての項目で私よりも高得点で、図表に置き換えたら私のふた回りくらい大きなグラフになるんだらうなと現役時代は感じていました。

——日本は五輪団体戦でロンドン銀、リオ銅、東京銀と3大会連続でメダルを獲得しています。中国に続く2番手です。パリでは金メダルが期待されます。**西村** ランキングから見ても中国が頭ひとつ抜けて

いて、2番手に日本・ドイツ・台湾・香港となつて  
います。まずこうした国に勝たないと中国との戦い  
に届かない。最終目標は中国を倒して王座奪回です。  
**元世界王者を追い詰めた12歳**

01年2月、全日本選手権に次ぐ国内のビッグイベ  
ント『ジャパントップ12』で、福原は元世界王者の  
小山ちれ(当時36)と初対戦。卓球台に近く立って  
ボールの上がり際を打つ前陣速攻で小山を追い詰め  
た。最終的には小山に振り切られたが、小柄な体か  
らの高速ストロークで善戦。過熱する報道陣への  
「皆さんは騒ぎ過ぎです。中国には愛ちゃんと同じ  
ような選手が1000人はいます」という小山の発  
言が波紋を呼んだ。

——ここで少し、福原さんの現役時代のお話をお伺  
います。あの小山さんの発言に対して福原さんは  
「1000人いるなら連れてきてください」と返し  
ました。とてもしっかりとした発言だったと記憶し

ています。12歳の時です。覚えていますか？

**福原** 私は全然、そんなつもりではなくて。まだ12  
歳だったので試合中も小山さんを見る余裕もなかつ  
たですし、小山さんの言葉の意味もよく理解をして  
いなくて、これはマスコミの皆さんが面白く言葉を  
くつつけたというか(笑い) 試合会場が代々木第二  
体育館だったので、この試合会場に1000人も中  
国の人が入れますか？ 連れて来てみてはと。小学  
生だったので発言の意味を理解できずに行き違いに  
なったというか、私はもつとピュアな気持ちでした  
(笑い)。

——福原さんは直後に中国プロリーグに初めて参  
戦しました。中国に1000人も自分のような選手  
がいるのかを確かめましたか？

**福原** 私は3歳9カ月で卓球を始めてからどこへ行  
く時も両親が一緒でした。両親が私を独り立ちさせ  
るきっかけとして選んだのが中国リーグ参加でした。  
中国リーグはトップに超級リーグ、その下が甲A、





95年、雷山で母と並んで走る5歳の福原

した。中国人の友達も出来ました。ただ私のような選手が1000人いたのかは、残念ですが、分かりませんでした。

**西村** 中国の強さは一貫した育成システムですね。各地域クラブで実力が認められた選手は省の代表チーム、ナショナルチーム2軍、さらにトップの国家代表へと昇っていく巨大なピラミッドになっています

そして甲B、乙A、乙Bとなっています。私は甲Bリーグの天津チームの一員で参加しま

した。日本だと18歳以下のトップレベルくらいです。本場を知ることとは貴重な経験でしたし、何より口うるさい両親がいなかったのので伸び伸び試合が出来ま

す。元代表だった優秀な指導者が各地にいて才能を発掘し選抜育成する優れた環境があるんです。

### 衝撃の世界デビュー パリを揺らした14歳

03年5月、パリ世界選手権。世界91位で初出場した当時14歳の福原愛が、高速ラリーを武器に日本勢唯一のベスト8進出を果たした。2回戦で優勝候補の世界12位リ・ジャウエイ（シンガポール）をテンポの速い攻撃で下すと、各国エース級を破り準々決勝進出。福原は「試合中は何も考えていない。手が勝手に動く」と声を弾ませ、西村監督は「勝負勘は教えて出来るものではない。天才と呼んで良いと思う」と語った。世界1位の張怡寧（中国）に敗れてベスト8に終わったが、福原はスタンドの眼差しを独り占めした。

——初出場の世界選手権で一気に世界に躍進しました。

**福原** この世界選手権をきっかけに私のことを外国

日本の卓球はなぜここまで強くなったのか?!



2003年パリ世界選手権。背番号91は世界ランキングの順位。その福原が大躍進してベスト8となった

のトップ選手に知って頂けました。大会初日とか2日目は雑誌でしか会えない選手たちが練習場において「わあ！すごい」って感じでした。朝から晩まで色々な選手と会えるから楽しくて練習場を出たくなかった。ずくっといました。試合に勝つたびにハイタッチをしてもらった。すごく嬉しかったのを覚えています。

**西村** 日本の福原愛という名前が世界に知られ、中国も注目し始めた。新しい日本の卓球が動き出す起点でした。福原は才能とセンスだけで卓球をやっていたがこのパリ大会で戦術がプラスされた。世界のトップ選手を間近で見ると大きな刺激を受けググッと成長し開眼した。相手のどこを攻めれば勝てるのだろうかと自ら考えてベスト8ですから立派な成績、快拳です。ただ当時メディアでは卓球の扱いが大きくなかった。私も代表監督としてメディアへの強いインパクトを考えまして「福原は卓球界の美空ひばりだ」と喩えました。新聞各紙、テレビでも大きく

取り上げて頂きました(笑い)。

実は95年3月、西村監督は富山で開かれた東京富士大学の合宿に5歳の福原を特別参加させていた。合宿の3日間、大学部員と同じメニューを可能な限り消化させた。早朝の3kmランニングでは、先にゴールした部員たちが朝食を食べ始めても到着しない福原を、西村監督は玄関の陰で待っていた。すると30分も遅れて福原は母と手をつないで一心に走ってきた。その小さな背中が西村監督の脳裏には今も焼き付いている。

——ではここからはメインテーマの「なぜ日本の卓球はここまで強くなったのか」に移ります。今回は西村監督にポイントを4点あげて頂きました。ポイント①は『選手選考改革』です。中国帰化選手から国内の若いフレッシュな選手へ変えました。

**西村** 中国出身の帰化選手は中国で揉まれて実績のあるベテランですから国際大会で勝つ可能性は高い。しかし私は日本の若い力を大胆に起用し新しいチー

ムを作れたかった。帰化選手を差別するわけではないが

変革が必要だと強く思っていました。

当時の代表チームは26歳の梅村(礼)

から最年少14歳の福原まで世代が大

きく離れていた。チームをまとめる

方策として分かりやすい旗印、テ

マを3つ掲げまし

た。ひとつは「勝利と育成」。これは相反するもので、勝ちながら若手を育成することは非常に難しい。ベテランの経験や技術を試合や合宿を通じて若手に伝承する。それから「競争と協調」。合宿では数多く試

## なぜ日本の卓球は強くなったのか

- ① 中国帰化選手 ➡ フレッシュな若手選手へ
- ② 家族での卓球 ➡ 低年齢から技術習得
- ③ メディアの力 ➡ 世間の認知度の向上
- ④ スポンサーの力 ➡ 強化費など大幅増加

合をして順位をつける。目的意識を共有しチームワークを確立する。そして「捲土重来」。日本に王座を取り戻すという目標です。代表合宿に招集した選手、スタッフたちと最初の顔合わせの時、スケジュールなどを記した冊子を配り表紙にテーマを必ず書きました。メディアの方々にも同様に合宿のテーマを伝えました。また日本文化からもヒントを得たくて大相撲の朝稽古を見学しました。激しいぶつかり合いから闘争心を感じて欲しかった。福原は覚えていたかな？ 稽古の後に武蔵丸関のおなかを指で突っついて「こんなにおながが大きいんだ！」なんてね。横綱は笑っていました。バスケットボールの高校選手権も見学しました。得点すると選手が大きな声を出している。私たちも見習ってみようと声を出す練習を始めました。得点したら肩より高く手を挙げて「よーし！」と大きな声を出そうと。パフォーマンスで気持ちを高めて戦いの局面を少しでも優位にしたい。アテネ五輪の時に福原が得点して「サ

ァー！」という掛け声が話題になりましたが、ここが原点だと思います。

——ポイント②は『卓球を始めるきっかけが家族』です。家族で築いてゆく成長とは？

**西村** 最近の女子代表は母親が最初のコーチ役ですね。石川佳純、平野美宇、伊藤美誠も母親が手ほどきをした。母親が自宅の食卓で子供と一緒に卓球をする。どの選手の母親も世界レベルの選手ではなかったけれど基礎的な指導はしっかりしている。幼い子供にラケットの持ち方から教えるのは根気が必要ですよ。親だから我慢強く教えられる。そして技術的なことを遊びながら早くから取り組める。福原、石川、平野、伊藤、全員メダリストになりました。母親の愛情が日本の卓球を作っている。毎日、何百本もラリーを続けられないですよ。福原は何本ぐらいラリーを続けた？

**福原** 小学生の時に1000本です。

**西村** 1000本！ 出来ないことですよね。

——福原さんはお母さんから手ほどきを受けて育ちました。家族で卓球をやることのメリットそしてデメリットをどう感じていますか？

**福原** メリットは母親だと24時間体制で食事面、身体の部分、メンタルの部分をサポートできる。卓球場の料金はフィギュアスケートのリンク代ほどは高くはないけれど、自宅なら無料で何時間でも練習が出来ます。さらに母親が教えればコーチ料がかかりません。食事の面でも一品ずつ子供が食べたものを把握し栄養補給のマネージメントが出来ます。睡眠時間も親ならお布団まで確認して何時に寝たかまでしっかりとマネージメント出来るのは大きなメリットだと思います。一方で子供と親、両方の立場からのデメリットもあります。子供の立場からすると甘えられる人がいない。他人がコーチならば卓球をした後「お母さん、きょうコーチが厳しかったんだよ。試合がしんどかったよ」と家に帰って遠慮なく話せます。母親がコーチの場合は甘えることが全くでき

ません。私はいまだに母親に甘えることが出来ません。褒めてもらうことや、母子として普通の家庭にあるような愛情が薄かったかなあと感じています。でも卓球に関してはいろいろと支えてもらいました。母子というよりもコーチと選手という関係性です。私の母の日常は家事、練習、試合と全く自由がなかった。朝は私よりも早く起きて食事の準備、夜は夕食、洗濯、翌日の準備をして遅く寝る。熱が出た時には座薬を入れて私の練習相手をしたそうです。家族で卓球に取り組んだ場合の母親のデメリットはそういう処かと思えます。

### 日本中が卓球愛ちゃんに驚いた

——福原さんが初めて紹介されたのが93年9月でした。全国大会の小学2年以下のバンビの部に4歳で出場した模様が夕方の全国ニュースで流れたことで一躍「卓球愛ちゃん」と人気者となりました。福原さんを発掘して、初めて取材をしたのが当時スポ

1ツニュースの担当だったディレクターの佐藤修さんです。佐藤さん、きつかけは？

**佐藤** その頃はスポーツニュースで取り上げるのはプロ野球か大相撲が中心でした。プロ野球ペナントレースも落ち着き、翌週放送するネタがありませんでした。インターネットがない時代だったので共同通信の月間予定表を開き、姫路市で「卓球バンプの部」という文字を目にしました。バンプの部って何？ とにかく見てみようと思われと姫路へ行ってみたら4歳の福原選手がいたのです。

卓球台から顔がようやく出るくらい小さな幼稚園児。ボールをきちんと打てるのだろうかと思われと撮影を始めたら……見事なスマッシュでポイント。そして試合中に相手に攻められると泣き出す……やめてしまふのかな……と思つたら諦めずに試合続行……勝つた！ あれよあれよと勝ち進んでベスト16。4歳の卓球選手とコーチ役のお母さんが二人三脚で戦う姿は実に新鮮でした。帰京して夕方のニュースで放送

をしたらいろいろな番組担当者から問い合わせが来ました。他のテレビ局や海外からも「あの卓球の女の子、どこの子？」とびつくりするほどの問い合わせでした。80年代、卓球は「ネクラなスポーツ」と揶揄されていていました。お昼の国民的番組の司会者が「卓球はネクラだよねえ」と発言したこともイメージ低下の一因で、特に女子中学で卓球部の部員が激減していました。当時、テレビの影響は絶大でした。それを「卓球愛ちゃん」が一変させました。

——ポイント3は『メディアの力が卓球の認知度を高めた』です。メディア側として実感は？

**佐藤** 西村監督は基本的に取材制限を設けませんでしたが。練習に影響がなければ撮影も可。さらに一般にも無料開放して誰でも見学できるようにしました。客席を埋めた地元の方が選手を激励して、「卓球愛ちゃん」がさらに身近になった。そして合宿最後の夜は監督の音頭で記者全員を招き懇親会。盃を交わしながら記者の意見に監督は耳を傾ける。そこで監

督は記者に「福原は卓球界の美空ひばりだ」と、新聞の見出しになるような名言を口にしました。

**西村** 中学生の福原が代表候補として一生懸命にやっている姿を全国の皆さんに知ってほしかった。見られることの相乗効果として他の選手の競技力も上がります。この盛り上がりで全国の指導者にも知って欲しかった。第2の福原がきつと育つだろうと。

——誰にでも見ていただこう……という精神は、72年ミュンヘン・オリンピックで金メダルを獲得した男子バレーボールの松平康隆監督も同じでした。それでは最後のポイント4は『スポンサーが増えて強化費などが大幅に増えた』です。

**西村** 私の監督時代と比べると強化費は3〜4倍は増えたと思います。03年パリ世界選手権の女子代表チームのスタッフは私と戦術コーチ、トレーニンングコーチの3人でした。今は男女ともにコーチ、トレーナー、練習相手なども加えるとスタッフの総数は40人以上です。20年間で大所帯となりました。12年

ロンドン五輪女子団体戦での銀メダル獲得もあり、全体予算はかなり増えています。日本卓球協会の登録者数も約33万人に伸びて登録費も増えたはずですが、練習環境も整備されて若年層強化の象徴となるエリートアカデミー事業も順調です。ヒト・モノ・カネが潤沢になった。この整った環境の中で結果を求められるのは当然でしょうね。かつてはナショナルチームのメンバーでも海外遠征費は所属チームに頼るか個人の自費参加だった。強化費が整備された現在は小中学生の海外遠征も当たり前になりました。

——福原さんは引退会見で「日本中の皆様に見守られながら育てて頂きました」とコメントされていましたが、ご自宅にテレビがなかったそうですね。なぜなかったのですか？

**福原** テレビを見始めるとコマーシャルを歌えるぐらい見続けて何も手につかなくなってしまうからです。これはテレビを自宅に置かない方が良いぞと考えました。私は10歳でプロ宣言して、より良い環境

を求め仙台から大阪に移りました。転校初日にテレビの力を実感しました。学校へ行くとクラスメイト全員が私の名前を知っている。先生も知っていて親御さんたちも知っている。本当に驚きました。私はクラスメイトを誰も知らないのに。なんだか「連れてこられた宇宙人みたいな感覚」でした。私を見てきゃーって走って逃げていく子もいた。愛ちゃんがいたぞ！ みたいな反応とか。不思議な感覚でしたね。

——一方で注目度が高いだけに、卓球の成績が悪いと「もう福原選手は終わりだ」と全く知らない人にも言われたそうですね。

**福原** それはすごく怖かったです。パリの世界選手権でベスト8になって帰国したら空港にはメディアの方がたくさんいて、動く歩道がカメラに囲まれて隠れようがない状態でした。嬉しいというよりも次にダメだったら怖いなあという不安がありました。小学4年の全国大会開会式の入場行進で先頭を歩い

ている時に隣の男子が「愛ちゃんは、どうせ優勝でしょ」って言うんです。選手宣誓の前に。ああこれは……私って優勝しないとダメなんだ。次に負けたら終わりなんだという恐怖は常に心のどこかにありました。

### チャンピオンにして卓球外交官 荻村伊智朗

——日本卓球の歴史を遡ると、かつては日本が卓球王国と呼ばれていました。それは国際大会の優勝の数だけではなく、「ピンポン外交」など平和活動であると聞いています。卓球の国際性についても教えてください。

**西村** 政治的対立を乗り越える平和外交のリーダーが荻村伊智朗さんです。荻村さんは選手として世界選手権で12個も金メダルを獲得しました。でも日本には世界チャンピオンになった方は他にもたくさんいらっしゃいます。荻村さんが特に素晴らしいのは現役引退後、国際卓球連盟の会長になってからの功績





仙台で当時8歳の張本(右)とラリーをする福原さん

です。国際舞台から離れていた中国を導き、米中関係雪解けのきっかけを作り、韓国と北朝鮮の統一チーム結成を実現した。北朝鮮へ33回も渡って交渉をしたと伺いました。イスラエルとパレスチナの両国選手並みの選手宣誓も実現させた。

パフォーマンスではあるけど卓球人だからこそ出来ることだと考えます。卓球を通して平和貢献が出来ないかを試み続けた方だったと思います。平和という言葉を心から愛された方でした。

荻村伊智朗は「卓球とは100m競争を走りながらチエスを指すようなもの」と競技を表現したことも知られる。引退後、日本人初の国際競技団体の会長に就任。「卓球はスポーツを超越した最高の外交手段」と、難しい国際関係にも積極的に友好の道筋を作った。71年名古屋世界選手権では国際舞台から遠ざかっていた中国を6年ぶりに復帰させて米中関係正常化の一助を担った。91年千葉世界選手権では韓国と北朝鮮の「統一코리아チーム」結成を実現。女子団体で統一코리아は中国を下して金メダル獲得。朝鮮半島をデザインした「統一旗」が掲揚され朝鮮民謡「アリラン」が歌われた。福原愛が5歳で全国大会最年少優勝を果たした94年12月に62歳で亡くなった。荻村は福原の快挙を喜んでいたという。荻村

の薫陶を受けた西村は東京都知的障がい者卓球部会などとも長らく交流してきた。東京富士大学卓球部にも聴覚障碍の選手が在籍。09年デフリンピックではヘッドコーチを務めた。

——さて今回の代表で張本兄妹が注目されています。福原さんと同じ仙台の出身で良く知る間柄ですか？

**福原** 卓球界のビッグスター張本智和選手は小学生の頃から強かったです。張本選手は仙台卓球センターの出身です。私も現役時代に良く練習をさせて頂きました。張本選手のお父さんがまだ結婚をする前、コーチの頃からの知り合いです。張本選手がお母さんのお腹にいる頃から良く知っています。だからいつも張本選手の試合を親戚気分で見えています。11年東日本大震災の年、福原は岸川聖也とペアで世界選手権ミックスダブルス銅メダルを獲得。個人種目で初めてのメダルを手に故郷・仙台の慰問へ頻りに通った。慰問先ではある少年と卓球を披露した。

対戦者は小学2年生の張本智和だった。

——今回のパリ五輪で張本選手は男子のエースですが、どんな活躍を期待していますか？

**福原** 卓球は精神面が7割といわれる競技です。張本選手は幼いころからとても積極的で試合中も思い切った冒険をします。守らず攻めるタイプの選手です。中国の選手に対しても臆せず果敢に攻めていく。張本選手は攻め切る強い気持ちを持っています。だからパリ五輪はとても楽しみです。必ず大活躍すると信じています。妹の美和選手が入った女子チームが若くて本当に元氣と勢いがあります。

**西村** 私がパリ五輪の舞台で日本代表に求めるのは勝敗はもちろんですが、日本らしい美しいパフォーマンスを期待しています。試合中のマナー、対戦相手に対する敬意、取材対応などにも注視したいですね。

**福原** 私はアテネ五輪の時、代表の座を賭けて33人で総当たり戦をしました。3日間ぶっ続けて試合で

す。とても良い経験でした。代表入りしてからもいろいろな経験を積めてとても感謝をしています。

**西村** 福原には単なる人気者ではなく世界に注目されるアスリートになって欲しかった。幼い頃から華があった。年齢に関係なくナショナルチームに必要だと思いました。代表は時期尚早だと反対の声も小さくなかった。だから福原が負けた時すぐに責任を取れるよう辞表をいつも持っていた。

——卓球ニッポンの活躍をより深く楽しむために、卓球競技の面白さについて伺います。卓球は用具のスポーツとも呼ばれるそうですが、具体的に用具によつてどんな違いがありますか？

**福原** 卓球は野外スポーツではないので天候はあまり影響がないのではないかと思われていますが、実は卓球台もラケットも木製なので湿気によつて微妙に形状が変化するんです。卓球台ごとにボールの弾み方も変わります。ラケットの種類は約300種類あります。ラケットの両面に貼るラバーの種類も千

差万別で粒の高さが違うものなど300種類以上あります。ラバーによつて戦い方、打ち方などが変わります。自分が扱いやすいラバーは、実は相手もやりやすいんです。だからラバーの使い方で番狂わせも起きます。2月の世界選手権でインド選手が中国の世界チャンピオンに勝った。戦術と用具と研究、奥が深い競技です。

今年2月世界団体開幕戦で世界ランク1位の孫穎莎（中国）が155位アヒカ・ムケルジ（インド）に、2位の王芸迪（中国）は49位のスリージャ・アクラ（インド）に敗れた。インド女子の各選手は世界のトップ選手が使わないラバーを両面に貼っていた。「アンチ」と呼ばれる回転がかからないラバーと高回転がかかる「粒高」。女子団体戦初戦で中国はインドの変則ラバーに戸惑いながら3―2で辛勝した。——ではここで、会場から質問を受けます。質問のある方は拳手をどうぞ！

**質問者** 今後やってみたいことはありますか？



ロンドンとリオ2大会連続でメダル獲得(写真・山内亮治)

**福原** イベントで卓球部顧問になったある先生から

伺った話です。「学校に卓球経験者がいないので急遽顧問になりました。指導はYou Tubeを参考に教えています。全部員が同じラケット、同じラバーを使い同じ打ち方をしています」と。子供には個性があり各々に合ったラケット、ラバー、打ち方があるはずですから、子供の個性を生かせる指導者を

育成する講習会をやってみたいです。

**質問者** 高校1年です。試合に敗れ次に勝つ為に、自らを鼓舞する方法は？それは卓球以外のどんな場面で生かされます

か？

**福原** 試合に負けて悔しいと思えるうちはまだ良いなって思っていました。試合で負けて上手くいかず悩むのはトータルで人生を考えた時、好きな卓球で悩めるのは幸せなことだと。年齢を重ねると諦めやすくなり悔しくても泣けない。伊藤美誠選手が急成長した時「美誠がんばれ」と思う自分に気づきました。勝ちたい、ライバルだと思えない。年下の可愛い妹、頑張れって思う自分を感じた時にもう私には成長がないと思ひ引退を決めました。だから悔しいと思える気持ちはすごく良いことだと思います。卓球はバスケットボールのように遠くから投げたら3点とかはなく、派手なプレーも1点、地味なプレーも1点。人生もコツコツやっていこうと常に思っています。ちゃんと質問の答えになっていますか(笑い)。

(本稿は2024年4月20日東京・新宿区早稲田大学戸山キャンパスで行なわれた「第128回スポーツを語り合う会」を元に構成したものです)



# ハンドボールはなぜ36年ぶりに オリンピックピックに出場できたのか?!

スポーツプロテューサー

杉山 茂

ハンドボール日本男子代表チームのパリ・オリンピックアジア予選（代表1カ国。2023年10月11日カタール・ドーハ）を前にした内外メディアの評判は高いものではなかった。

無理もない。2週ほど前の第19回アジア大会（中国・杭州）で日本はオリンピック予選の難敵とみられるカタール、バーレーン、クウェートに敗れ、3大会続けてメダルを逃して4位に甘んじていたのだ。各国とも手の内を隠しての対戦ではあったが、パリへの道のりは中東勢が優勢で進むと思われた。それが一変しての展開。日本は予選ラウンドの2戦目でバーレーン（東京オリンピック・アジア代表、杭州アジア大会2位）を27―26で破って勢いに乗り、

クウェートを2点差で突き放し、このラウンドを1位で通過、4強による決勝トーナメント1回戦（準決勝）で韓国に快勝。決勝はカタールを下して勝ち上がってきたバーレーンとの「再戦」に32―29で勝利を収めて、1987年8月のソウル・オリンピック予選（ヨルダン）以来、開催国枠で出場した「東京大会」を挟み8大会36年ぶりにアジアの壁を突破したのである。

21年東京オリンピック（11位）代表15人のうち11人がメンバーに残り、杭州アジア大会にも出場しているが、彼らには共通した思いがあった。「東京」は無観客での運営となり、ハンドボール競技の魅力を存分に伝えられなかった、との悔いである。国際

色豊かな満員の観客、オリンピック独特の華やかな雰囲気にも包まれてプレーする自らの夢も果たせなかった。その無念さも重なる。

世界でもっとも熱いハンドボールファンが囲むヨーロッパのオリンピック会場で、日本がプレーできるのは1972年のミュンヘン大会以来52年ぶりだ。このチャンスも、愛好者、ファンのためにもつかまなければ、またハンドボールは低い評価に沈み、「暗い時代」を迎えてしまう。

悲壮な感じは拭えぬが、東京オリンピックの不完全燃焼がチーム内の結束ムードを高めたのは確かだ。目に見えぬ勝因の一つと言っている。

精神面の高まりだけで勝ち進めるわけではもちろんない。

予選目前の杭州アジア大会で12日間に8試合を戦えたのは、23年4月のチュニジア遠征を含めても十分な合宿と実践をこなせなかっただけに「貴重だった」と選手たちは口をそろえる。短い時間の制約の

中で課題の修正より、個々の長所を活かして戦う「型」をつかめたのだ。

### 中東情報を身近にした効果

新戦力も生まれた。北マケドニアリーグのトップクラブで活動する安平光佑(23歳、172cm)だ。学生時代に海外へ飛び出し、ドイツリーグの代表的強豪の門をたたいて第2チームに加わり、いったん帰国して卒業後、フランス、ポーランドリーグでさらに腕を磨いた。所属クラブがアジア大会期間中の離脱を認めず、オリンピック予選が代表デビュー。それも東京での合宿には間に合わずに現地で合流。バーレーンとの決勝では10点を挙げた。行動に見られるように思い切りのよいプレーが魅力だ。

アジアのハンドボールをリードする中東勢。限られた情報のなかで対戦してみて、その手ごわきを知るケースが多かった。ビッグイベントを目標に実績のある外国のベテラン選手を誘い、国籍を取得させ

て強化を図る「手法」でのし上がった。カタールの協会役員は「我が国の人口とドイツのハンドボール愛好者の数はほぼ同じ。こうでもしなければ世界に伍していけない」と言つてのける。国内の状況も分りにくかったが、東京オリンピックを前に日本の主力、吉野樹（29歳、182cm）、徳田新之介（28歳、178cm）がカタールリーグに、ベテランの渡部仁（34歳、183cm）がクウェートリーグに、部井久アダム勇樹（25歳、195cm）がアラブ首長国連邦リーグの各有力クラブに参加し、中東のハンドボールを身近にさせたのも新しい流れだった。安平はクラブチームの国際大会でクウェートのクラブに期限付きで移り、徳田も同じ大会でサウジアラビアのクラブに呼ばれた。ライバル国の日ごろの試合ぶりや環境を知るのは大きい。明らかに今回の勝利へつながつている。

日本ハンドボール協会が東京・パリの2大会8年間の采配を、ダグル・シグルドソン氏（アイスラン

ド、51歳）に委ねたのも効果があった。同監督は日本リーグでのプレー経験もあり、その時から代表チーム（選手）に欠けているのは「フィジカルの強さと国際経験」と見抜き、指導の軸に据えた。新型コロナウイルスの影響で後者は思うに任せなかったが、ヨーロッパ勢に当たり負けしないたくましさは攻守のスケールを大きく伸ばした。

パリ・オリンピックはその集大成。夢は膨らんだが、今春2月「他国の監督を務めたい」との理由で同氏が退任を申し出るハプニングが起きる。

### 日本のハンドボール騒がしい歩み

日本ハンドボール界の歩みは何かと騒がしい。その都度「オリンピック至上」のムードがつもりもした。

1936年のベルリン・オリンピックに次いで1940年の東京大会でも実施が決まり、1938年2月に慌ただしく日本ハンドボール協会が設立され

るが、163日後、日本政府によって大会開催は返上となる。

「新スポーツ」の名にひかれて集まった（集められた）選手たちは目標を失うどころか競技の存続さえ危ぶまれるが、中学（旧制）、高等女学校での普及が進み、辛うじて苦難を乗り切り、戦後は学校体育との「共存」に活路を見いだす。

当時の競技場はサツカーと同サイズで競技は11人制。大きな違いはゴールラインから11m（のちに12m）の地点に半円型のラインを引き、そのエリア内でゴールキーパー以外はプレーできなかつた。豪快味はあつたがサツカーの人気には及ばず、本場ヨーロッパでもなかなか愛好者が増えず、7人制による室内競技へ切り替える国が続いて11人制は消滅してしまう。日本も同じ経過をたどる（1963年）。1964年の東京オリンピックは11人制で準備されていたが、1961年に国際オリンピック委員会は大会規模縮小からハンドボールそのものの削除を決

めた。

1972年ミュンヘン・オリンピックで室内競技として復活が決まり、内外とも新時代を迎え、日本はアジアでトップの力を示す。1976年モントリオール・オリンピックから女子競技も採用されたが、日本国内で予定されていたアジア代表決定戦は、当時アジア連盟に加盟していたイスラエルの試合の安全が危ぶまれ、無観客試合での強行となり、マスコミは「密室試合」と名付けた。日本ハンドボール協会は会場名を現在も明らかにしていない。

1980年代、女子の韓国がソウル・オリンピックを機に世界最高峰に立ち、男子は初のニュージーランド・アジア大会（1982年）で日本は中国に敗れ、中東勢の進出もあつてアジア・ナンバードワン（ワン）の地位は崩れ、取り返せぬまま時間が経過する。

中東勢の「政治力」による混乱にも見舞われた。北京オリンピック男女アジア予選では、レフェリングの「意識的なミス」を国際ハンドボール連盟が重



大視。すべてがやり直しとなるが、日本は「再予選」(2008年1月、東京)で男女とも韓国に敗れた。そして今回「東京からパリへ」の道を導いた監督が、他のチームを率いて同じオリンピックピックを目指したいと辞意。海外でもあまり例のない騒ぎである。

### 動画で代表選手の最終選考か

日本ハンドボール協会はシグルドソン氏の意向を「契約上の合意はしないが受け容れる」(2024年2月9日)とし、後任の人選に取りかかる。シグルドソン氏側有利の条項があったのかは詳らかではないが、パリまでの時間を考えて再交渉に手間取るのを避けたとみていい。後任は3月末、アントニオ・カルロス・オルテガ氏(スペイン、52歳)に決まる。2016年1月のアジア選手権、2017年1月の世界選手権でワンポイント的に日本男子代表監督を引き受け、その指導ぶりが評判となった人だ。

気がかりは同氏が世界的強豪バルセロナの現役監

督で、6月初旬のヨーロッパ・チャンピオンズリーグのベスト4に進出、手が離せない。5月の代表合宿(東京)も3日ほどの顔見せで帰った。日本への集中は6月10日すぎ、パリ大会まで50日を切ることだ。

注目の代表選手選考。シグルドソン氏がリストに残した候補選手は30人近い。カルロス監督と日本の強化関係者は動画情報をもとにオンラインでミーティングを重ねて絞り込み、来日を待つて日本オリンピック委員会へ届け出る最終リストをまとめる。いずれにせよ異例だ。

パリではシグルドソン氏が監督に就任したクロアチアと、予選ラウンドの初戦で顔を合わせる。

フランスの強豪クラブで活躍する吉田守一(23歳、190cm)は「対戦国は気にならない。僕らは何色のメダルでもいい、その目標に向かって全力で挑みます」と話す。久しぶりに元気な代表チーム。厳しい相手がそろろうが楽しみだ――。

2024 **パリ** オリパラは燃えているか？

パリ大会はバスケットボールも  
バレーボールも

**見逃せない**



スポーツライター

**小川 勝**

パリ五輪に向けて、日本のバスケットボールとバレーボールが、近年になかったレベルにあることは間違いないところだ。男子代表が自力で五輪に出場するのは、バスケットボールでは48年ぶり、バレーボールでは16年ぶりである。女子代表についてはのちほど詳述するとして、男子代表について、まずは十分に理解しておきたい。

## 52年ぶりの五輪勝利を

バスケットボールの男子代表は、2023年のワールドカップで、アジア勢の6カ国のうち最上位になってパリ五輪の出場権を獲得した。これがどれくらい価値のあることなのか、まずは理解しておこう。男子代表が前回、自力で五輪に出場したのは1976年のモントリオール五輪のことだった。アジアの五輪出場枠は1つだけ。だがモントリオール五輪の切符を日本が獲得できたのは、1975年のアジア選手権における2位によってだった。アジアで2位

だったにもかかわらず、なぜ五輪の出場権を獲得できたのか。それは1位だったのが中国で、当時の中国は国際オリンピック委員会に加盟していなかったため、中国以外の最上位のチームが出場権を獲得することになっていたのであった。当時の成績を見ると、日本は、中国には59―80で敗戦、韓国には106―102という接戦で勝ちを収めていたが、あとの試合はすべて15点差以上をつけて勝っていた。

だが近年のアジアは、まったく事情が違う。まず中国は1984年のロサンゼルス五輪から五輪に出場するようになった。また1975年のアジア選手権には名前のなかったイラン、レバノン、ヨルダンといった中東勢が、2000年ごろからアジアの表彰台の常連になった。さらにフィリピンもアジアの強豪に名を連ねてきた。世界ランキングで見た場合、日本と同等か、日本よりランキングが上のチームは中国、韓国、イラン、レバノン、ヨルダン、フィリピンなど、6カ国くらいはある中で、1位にならない

いと五輪の出場権は獲得できない。そういう勢力図が、ずっと続いていたのだ。アジア選手権は2017年からアジアカップという名称になったが、日本の表彰台は1997年以来、なかった。アジアの表彰台になかなか届かない中で迎えたのが、2023年のワールドカップだった。世界ランキングで36位だった日本は、1次ラウンドで24位のフィンランドに、最大18点差を逆転して勝利したあと、順位決定戦では17位のベネズエラに最大15点差を逆転勝ち。さらに64位のカーボベルデに勝利して大会3勝2敗となり、レバノン（2勝3敗）、フィリピン（1勝4敗）、中国（1勝4敗）、イラン（5敗）、ヨルダン（5敗）というアジア勢の中でトップとなって、パリ五輪の切符を勝ち取ったのだった。

## 八村塁はいなかった

長い間、アジアのトップの地位に届かなかった日本が、ワールドカップでトップを取れたのは、ずつ

と男子代表を支えてきたNBAの経験者である渡邊雄太、Bリーグ宇都宮の比江島慎、千葉の富樫勇樹といったメンバーに、スピードと長距離シュートの能力を兼ね備えたメンバーが加わったことが大きかった。加わったのはワールドカップ当時22歳で代表の司令塔を務めた横浜の河村勇輝、23年2月に日本国籍を取得した208cm、渋谷のジョシュ・ホーキソン、そして河村と同年の3点シューター、ネブラスカ大学の富永啓生という3人だ。

ただワールドカップには、レイカーズの八村塁は出場していなかった。八村は2024年2月6日のホーネッツ戦以降、31試合にわたって1試合あたり20分以上のプレータイムを与えられ、31試合の中、24試合で二ケタ得点を記録するという、レイカーズの重要な戦力となった。富永も、12勝8敗でビッグ10カンファレンスで3位となったネブラスカ大学において、チームでトップの平均15・13得点を挙げるなど、中身の濃い経験を積んだ。八村はパリ五輪に

は出場に前向きな意思を見せており、ワールドカップでは見られなかったフルメンバーで、パリでは戦えるはずだ。グループリーグでの対戦相手はドイツ、フランス、さらに7月の五輪最終予選で決まる1カ国だ。ドイツはワールドカップの優勝国、フランスはワールドカップでは日本と同じ3勝2敗だったが、パリには、224cmのルーキーとしてNBAのスペースで話題のビクター・ウエンバンヤマが出場すると見られており強豪だ。あとの1カ国は、世界ランキングから考えれば6位のラトビアが出てくるものと見られ、ワールドカップでは5位になっている国だ。表彰台を狙っておかしくない強豪ばかりだ。

ワールドカップは出場国が32カ国、五輪は12カ国だから、五輪での勝利はワールドカップよりはるかに価値がある。モントリオール五輪での日本はエッジプトの棄権によって記録上、1勝6敗だったが、試合を戦ったうえで勝利は1972年のミュンヘン五輪で2勝を挙げて以来、記録していないというこ

とだ。男子代表はパリで、52年ぶりとなる五輪での勝利に向けて戦うことになるのだ。

### スピードで魅せるか?!

女子代表は2大会連続のメダル獲得を目指して戦うことになるが、米国がトップに立っている女子の場合、2番手以下はあまり差がついていない。2月に開催された五輪世界最終予選で日本は、世界ランキングでは4位のスペインに勝利、5位のカナダにも勝った。日本は9位だから価値ある勝利だが、19位だったハンガリーには敗れた。パリ五輪では予選ラウンドを勝ち上がった決勝トーナメントの8カ国、いずれがメダルを獲ってもおかしくないと思われる。日本の女子代表は五輪銀メダルのメンバーから少し替わった。185cmの高田真希、同じく長身の赤穂ひまわり、3点シューターの林咲希、馬瓜エブリンらは同じだが、2月の五輪世界最終予選では、3人制の代表メンバーだった165cmの山本麻衣が加

わって活躍した。大会トップの平均17・0得点だけでなく、3・7アシスト、3・7リバウンドと、攻守で重要な働きだった。思い切った3点シュート、自分よりはるかに大きな選手をドリブルで抜き去ってレイアップを決めるときのスピードは、日本のメンバーの中でも際立っていた。パリではチームのオフセンスでカギを握る1人になりそうだ。

### 戦力は充実した

バレーボールの男子代表は、金メダルを獲った1972年のミュンヘン五輪以来、52年ぶりのメダル獲得を目標に掲げることが、おかしくないチームになった。石川祐希、西田有志、高橋藍という、逸材として注目されてきたアタッカーが、欧州で経験を積み、そろって世界の強豪を相手に戦えるアタッカーになった。加えて、近年の男子代表でずっとプレーしてきたミドルブロッカー、28歳の小野寺太志と30歳の山内晶大が、技術の面で成熟したことで、チ

ームとしての戦術のバリエーションが豊かになり、長いラリーにおいて巧みなチームとなった。男子代表の最近の成績で、世界におけるポジションが理解できるものはいくつかあるが、2022年の世界選手権から見よう。

世界選手権での日本は、1次ラウンドでブラジル、キューバ、カタルと対戦して、当時世界ランキング1位のブラジルには敗れたがキューバには3―1、カタルには3―0で勝利した。16チームによる決勝トーナメントの1回戦ではフランスと対戦した。フランスは世界選手権の約1カ月前に行われたネーションズリーグで優勝していた国だ。試合は大接戦になって、日本は敗れたものの、第3セットはデュースで24―26、第5セットもデュースで16―18で敗れるという惜敗だった。そしてフランスは準々決勝でイタリアにセットカウント2―3で敗れたが、イタリアは優勝した。試合内容から考えれば、イタリアに敗れたフランスは優勝候補で、フランスに敗れ

た日本は、メダル候補と言えるチームだった、と考  
えていいだろう。

さらに2023年のネーションズリーグでは、日  
本は3位になって、初めて表彰台が上がった。ネー  
ションズリーグは2018年に始まったリーグ戦で、  
五輪、世界選手権に比べれば、すべての国がチーム  
を仕上げて出場する大会とは言えないものの、表彰  
台に上がるのは簡単ではない大会だ。2023年の  
日本は予選ラウンドでブラジル、フランスに勝つな  
ど10勝2敗の成績を収め、準決勝でポーランドに敗  
れたものの、3位決定戦では前年の世界選手権の優  
勝国であるイタリアに勝った。五輪、世界選手権で  
もメダル候補に名前が挙がる国になったことは明ら  
かだ。

石川、西田、高橋、小野寺、山内のほかに、西田  
と同じ左のアタッカー、宮浦健人が欧州でのプレー  
を経験したあと、代表での活躍が目立ち始めた。ネ  
ーションズリーグのブラジル戦では石川に次ぐ24得

点で勝利に貢献するなど、ライトからのスパイクだ  
けでなく、精度のいいサーブでも重要な戦力となっ  
た。日本は過去2年ほどの間に、チームとしての戦  
力が、メダル候補になってきたと言えるだろう。

近年の国際大会の成績から見れば、ポーランド、米  
国、イタリア、ブラジル、フランス、そして日本が、  
メダルを獲ってもおかしくない国だ。きつちりとレ  
シーブをして、ラリーの戦いに持ち込むことができ  
れば、日本はいい戦いができるはずだ。

### メダルへのベースは整った

女子代表は、代表監督に復帰した眞鍋政義監督の  
もと、5月から6月にかけて開催されるネーション  
ズリーグの成績を反映した世界ランキングによって、  
パリ五輪の出場権獲得を目指すことになる。出場権  
を獲得できるのは、すでに出場を決めている7カ国  
を外した世界ランキングで、上位5カ国ということ  
だから、常に世界ランキングではトップ10を維持し

ている日本の場合、出場権の獲得に関しては、ほとんど間違いないと見ていいだろう。

女子代表は過去3回の五輪で銅メダル、5位、10位と成績を下げていた。眞鍋監督は、代表の常連だったメンバーに、少しずつ初めてのメンバーを加えて、チームの立て直しをはかっていった。成果は2022年の世界選手権で出た。1次ラウンドでブラジルに3―1で勝利したのだ。ブラジルは同じ年のネーションズリーグで準優勝していたが、日本は筑波大を出て5年目の井上愛里沙がスパイクで23得点、ブロックで2得点、サーブで1得点という活躍を見せた。日本は準々決勝でブラジルともう一度当たって2―3で敗れ、順位は5位だったものの、成果の見えた大会だった。

2023年のネーションズリーグでは、予選ラウンドで米国に3―2で勝利した。米国は五輪、世界選手権では常にメダル候補の国だが、日本は21歳の和田由紀子が、スパイクで28得点、ブロックで3得

点、サーブで1得点という大活躍だった。和田は身長174cmで、日本のアタッカーの中でも大きいほうではないが、パワーがあるだけでなく、巧みにブロックをかわすコースに打つスパイクは、チームの中でも優れた技量だ。レフトからのオープンスパイクだけでなく、ライトからのバックアタックでもストレートの方向に巧みに打つことができ、ブロックアウトもうまいので、注目の戦力だ。

ずっと代表でプレーしてきた古賀紗理那、林琴奈、ミドルブロッカーとして力をつけた山田二千華らに井上、和田らが加わって、もう一度、メダルに挑戦する土台はできてきたと言えそうだ。

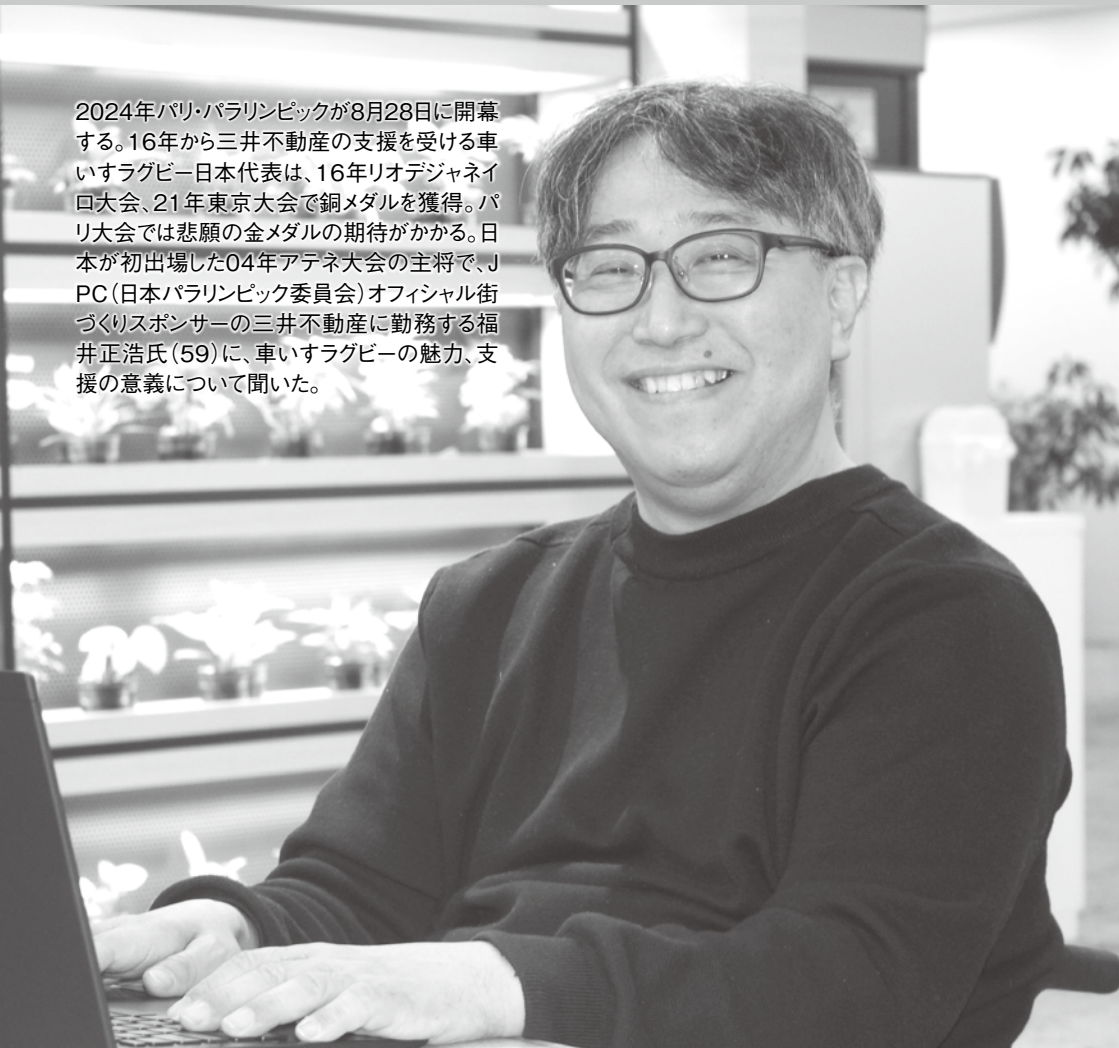
バスケットボール、バレーボールの男女の代表が、そろって五輪で戦えるのはめったにないことだ。パリ五輪は、日本のチームスポーツを理解するうえで、見どころのある大会になるはずだ。



# 2024 オリパラは燃えているか？ 車いすラグビーを ぜひ見てほしい

取材・構成  
長田渚左、首藤正徳

2024年パリ・パラリンピックが8月28日に開幕する。16年から三井不動産の支援を受ける車いすラグビー日本代表は、16年リオデジャネイロ大会、21年東京大会で銅メダルを獲得。パリ大会では悲願の金メダルの期待がかかる。日本が初出場した04年アテネ大会の主将で、JPC（日本パラリンピック委員会）オフィシャル街づくりスポンサーの三井不動産に勤務する福井正浩氏（59）に、車いすラグビーの魅力、支援の意義について聞いた。



**福井 正浩**（ふくい まさひろ）1965（昭40）年、東京都出身。小中学校時代は野球や剣道に熱中。19歳でモータースポーツを始め、22歳の時の交通事故で車いす生活に。その後、車いす陸上を経て車いすラグビーに転向。04年アテネ・パラリンピック出場。17年から日本代表のアシスタントコーチを務めた。91年に三井不動産入社。現在はビルディング本部勤務。

車いすラグビーは四肢に麻痺などの障害のある選手が、巧みな車いす操作でボールを奪い合い、トライを狙う球技で、2000年のシドニー大会からパラリンピックの正式競技になった。車いす同士をぶつけ合う激しいタックルが認められていることから「ラグビー」の名称がついた。

福井 発祥はカナダで、現在は欧米を中心に世界に広く普及しています。「ラグビー」のイメージが先行していますが、アメフト、バスケットボール、ラグビー、アイスホッケーのルールをうまく組み合わせた競技で、ボールを持って点を取りに行くスポーツです。もちろん激しいタックルが見どころで、格闘的な要素も大きいですね。

福井氏は97年に仲間と車いすラグビーの国内組織を立ち上げた先駆者で、日本がパラリンピックに初出場した04年アテネ大会では主将も務めた。実は日本の同競技の歴史は、そのまま福井氏の人生の歩みとも重なっている。

福井 高校卒業後にバイクに興味を持つようになり、国内のサーキット場でレースに出場するようになり、資金が必要なので昼間はバイクショップで働いて、深夜はコンビニのバイトを掛け持ちする生活を送っていたのですが、コンビニの夜勤を終えて、昼間の仕事にバイクで向かう途中に車に追突されて首の骨を折ったんです。22歳の時でした。

一命はとりとめたが、頸椎けいついを損傷して四肢に障害を負った。小中学校時代は都内の少年団で野球に熱中し、剣道も2段の腕前で小金井市の大会で優勝した実績もある。そんな躍動的な人生が一転、突然の車いす生活になった。ショックは大きく、一時は家族にあたることもあったという。転機はリハビリ病院の運動療法の先生との出会いだった。

福井 その先生や同じ障害を持つ知人から、障がい者のバスケットボールや陸上の東京都の大会にリハビリの一環で出場してみないかと声をかけられました。たまたま陸上の成績がよかったので、東京都選

手団の一員として北海道の大会に出場できた。それが（障がい者スポーツの）スタートです。その後、リハビリ病院を出て、東京・小平市の障がい者の職業訓練校で1年間勉強して簿記の資格を取って、91年4月に面接試験を受けて、三井不動産に入社しました。

就職後も陸上競技を続け、ホノルルマラソンにも出場した。その後、フロリダ州で開催された賞金レースの市民マラソンに出場するために渡米した時に、車いすラグビーと運命の出会いを果たす。

### 私とラグビーどっちを取るの

福井 現地のコーディネーターに「クアードラグビー」という四肢に障害のある人のスポーツがあるので体験してみないか」と言われて、バスケットボール競技用の車いすで体験してみました。車いす同士でぶつかるとすごい衝撃で、怖かったですよ。でもすごく熱い競技だなと思いました。そこで00年シドニ

ー大会からパラリンピックの正式種目になると聞いて、この競技の日本の草分けを目指してみようと、97年に仲間たちと国内組織を立ち上げました。

目標は04年アテネ大会出場。もともと当時の日本は車いすラグビーはもちろん、パラリンピックすら一般にはほとんど認知されていなかった。スポンサーの支援も、障がい者のスポーツ雇用もない時代。会社員と競技の両立には苦勞した。

福井 練習は仕事を終えてから。合宿は有休を使いました。当時は合宿地の福島県の「ヴィレッジ」に日本各地から選手が集まっていたのですが、仲間を羽田空港まで車で迎えに行つて、福島まで送り届けて、東京に戻つてきて仕事をして、その後に再び福島に行くというような経験も何回かしました。

当然、合宿費も百数十万円する車いすもすべて自腹です。しかも、激しいタックルを繰り返す車いすは、2、3年で買い替えなければならぬ。海外に行くようになって2年で100万円くらい遠征費を

使いました。週末はいつもラグビーで、怒った妻に「私とラグビーどっちを取るの」と言われて、車いすを隠されたこともありました。最終的には私の車いすラグビーへの思いを理解してくれて、今は夫婦円満です（笑い）。

その苦勞の甲斐あつて日本代表はアテネ大会で初出場を果たす。結果は8位。主将を務めた福井氏は、この大会後に引退を表明した。

福井 体力的な問題でした。今は障がい者スポーツトレーナーの資格を持つ方などがスタッフとして合宿や遠征に帯同していますが、あの頃はいかなかったので、ケガが絶えない状況でした。特に多かつたのが転倒時のひじなどの打撲です。すぐにケアしないとケガにつながる。このまま第一線で続けるのは無理だと、アテネに行く前から考えていました。家族との生活も考えました。

その後も日本は08年北京大会（7位）、12年ロンドン大会（4位）とパラリンピックに連続出場。そ

して13年9月の国際オリンピック委員会（IOC）総会で20年東京大会の開催が決定。15年4月、福井氏の勤務する三井不動産は大会組織委員会とゴールド街づくりパートナーの契約を結んだ。

福井 ゴールド街づくりパートナーになった後、会社として何ができるか意見を求められました。自分たちが苦勞してきた資金面で協力していただけると、



シルバーボックスでプレーする福井氏(左)

選手層も厚くなり、競技レベルも格段に上がるとい  
う話をさせていただきました。会社もパラスポーツ  
の応援を真剣に考えてくれて、その結果、三井不動  
産は16年4月に日本車いすラグビー連盟のオフィシ  
ヤルパートナー（現在はトップパートナー）になっ  
たんです。

その後、福井氏のもとに日本代表からアシスタン  
トコーチ就任の要請があった。当時、オフィスビル  
の管理業務に携わっていたが、東京大会と車いすラ  
グビーの支援のため、17年4月に広報部ブランド・  
マネジメントグループのオリンピック・パラリンピ  
ックチームに異動。アシスタントコーチとして日本  
代表の合宿に参加するために、業務も調整できるよ  
うになった。会社側も日本代表の支援だけではなく、  
国際大会などの開催やイベントなどで競技の魅力を  
積極的に発信した。

福井 日本は16年リオデジャネイロ大会で銅メダル  
を獲得して、18年の世界選手権では金メダルも獲得

しました。今の選手はスポーツ雇用がほとんどなの  
で、練習に時間をより多く割くことができ、強化指  
定選手になると合宿費などはJSC（日本スポーツ  
振興センター）から強化費として支給されます。ほ  
ぼ持ち出しはないと思います。20年前とは全然環境  
が変わりました。うれしい限りですよ。

自分に何ができるのか

一方で会社が車いすラグビーの支援を始めたこと  
で、会社内での変化も感じていたという。

福井 自分が入社した当初は、周りの方がどう接し  
ているのか分からないだろうと思って、自分から声  
をかけて、飲み会なども積極的に参加しました。段  
差があると同僚が担ぎ上げてくれました。会社が車  
いすラグビーを支援するようになって、社員との距  
離がさらに近くなった感じがします。応援にきてく  
れた社員から「良かった」という声をすごく聞きま  
すし、車いすのぶつかる音に驚いて「大丈夫なの」

と聞かれたり、より交流が深まった気がします。

64年夏季東京大会、98年冬季長野大会に続く3度目のパラリンピック開催は、欧米に比べてバリアフリーが遅れていた日本社会にどんな影響をもたらしたのか。

福井 今も電車を乗るには駅に事前連絡して駅員の都合を聞いて、乗り換えなどを伝えてと、きつちりした手順があつてすぐには乗れません。障がい者とかかわり方が丁寧すぎるような感じですが。乗客が手伝ってくれる欧米とはまだ意識の差を感じます。でも、東京大会を開催したことで、障がい者スポーツに光が当たるようになりました。車いすラグビーも各地の小中学校で体験会を開催して驚きと感動を共有してもらつたことで、車いすへのハードルは下がりがつあると思います。

21年東京大会で日本は2大会連続の銅メダルを獲得。今年のパリ大会では金メダルを目指している。一方、一度は現役を引退した福井氏は今、北海道の

クラブチーム「シルバーボックス」で、ヘッドコーチ兼選手として、さらに先の未来を見据えている。

福井 競技普及で全国を回りました。北海道のクラブは日本選手権の予選を突破できるかどうかのレベルですが、環境整備、普及活動、人材発掘に地道に取り組んでいて、現在の日本代表のエース、池崎大輔選手（元北海道Big Dippers）らを発掘しました。そこに非常に感謝の気持ちがありました。自分の役割はコーチや選手、スタッフに今のトレンドを伝えること。自分に何ができるのか。常にできることを求めている。

陸上競技をやっていた時にパラリンピック発祥の地でもあるロンドン郊外のストーク・マンデビルの競技大会に出場しました。そこで、パラリンピックの父と呼ばれるグッドマン医師の残した「失ったものを数えるな、残されたものを最大限に生かせ」という言葉に感銘を受けました。自分に何ができるのか。それを今も胸に刻んでいます。

# 「走」第10回



競走は、なぜ「陸(の)上(の)競技」と呼ぶの？

玉木正之

「おれは、バスケット部に入る。おまえは……？」

「おれは陸上をやるよ。足に自信があるから」

こんな中学一年生の会話を耳にして、ちょっと驚いた。「陸上をやる」って、どういうこと？

もちろん「陸上」とは「陸上競技」のことです、

競技場の競走路<sup>トラック</sup>を走って速さを競ったり、野原<sup>フィールド</sup>で跳躍や投擲を競うスポーツだとはわかる。が、それを「陸上競技」とか、「陸上」と略して呼ぶのは、少々おかしくないか？

英語では、アスレチックス (athletics = 運動競技) や、トラック・アンド・フィールド (track and field) という名称があるのに、なぜ日本語は「陸(の)上(の)競技」などと妙な言葉

になったのか？

調べてみると、正岡子規の『松蘿

玉液』(中国の有名な墨の名前) という名前の彼の随筆集に辿り着いた。

明治時代に「西洋より来りし戸外遊技」に興味を抱いた彼は、まず「今最も盛んに行はるる端艇競漕」と書き、水上の競技に対して「陸上競技」として「競走、高飛、棹飛(棒高跳び)、幅飛。槌投(ハンマー投げ)、鉄丸投(砲丸投げ)」などを紹介。さらに「競馬、テニス、ベースボール」を紹介し、子規が最も気に入ったベースボールの詳しい説明へと続けた。

そのなかで、競馬やテニスやベースボールは、それぞれ固有の名称で呼ばれるようになったが、その他の競走や跳躍競技や投擲競技は、同じ場所で競技が行われることもあって、最初に子規が書いた名称の「陸上競技」と一括して呼ばれるようになったらしい。

「陸上競技」以外に、何か良い呼び名はあるでしょうかねえ？



# 夢劇場『馬』

No.35



馬が翼をもつために

長田渚左

「本当に悔しい」

「あそこまで行つたので、勝ちたかつた」

米国で開催された第150回ケンタッキーダービー直後、5戦5勝で挑んだ日本のフォーエバーヤング陣営からは、キリキリと音がするような歯ざしりが聞こえてくるようだった。

勝つた馬との差は鼻差2つ分だった。タイムには換算できないわずかな差での3着。日本馬歴代最高着順だったが、初の快拳は逃した。

5月5日、ゴールデンウィークの朝、日本中の競馬ファンから深いため息がもれたが、最も悔しかったのは馬自身だったのではなかつたか。

ゴールに向かう直線は、追ってきたアメリカ馬と何度も馬体をぶつけて、泥ハネにまみれながらの追い比べは圧巻だった。まさに首の上げ下げほどの差に、よく走つたと涙が込み上げた。

しかし、勝負事は何でもそうだが『ほとんど勝つていた』と『勝ち切つた』は紙一重ではなく、大きな隔りがある。

翌6日、東京ドームで行われたボクシング4団体統一世界スーパーバンタム級タイトルマッチで、王者の井上尚弥が初回にダウンを奪われながら、規格外の強さで6回TKO勝ちした。彼は練習の中でも特にシャドーボクシングを大切にしていると聞く。

シャドーボクシングは基本中の基本で、ボクシングを始めた練習生が最初に教わる練習である。井上は今もそれを熱心に実行しているという。

そういえば、ある世界的なダンサーが「なぜ基本練習をするのか」と問われて「……自由になるために、翼をもつために」と答えていたのを思い出した。

フォーエバーヤングの今後の躍進のヒントは、そこらへんにあるのかもしれない。





## バックナンバーのご案内

バックナンバーを、直接お申し込みいただけます。ご希望の号と冊数を明記し、送料分の切手を左記にお送りください。申し込み住所が変更になりました。

〒168-0063  
杉並区和泉1-40-13-401  
スポーツネットワークジャパン  
『スポーツゴジラ』係

送料値上がりのため、やむをえず変更いたします。

6冊まで 送料 5000円  
12冊まで 送料 10000円

※特集の内容は本誌巻末カラーページとホームページに記載しています。

### 【ホームページ】

<http://sportsnetworkjapan.com/>

★お申し込みいただくとき『スポーツゴジラ』への感想もお書き添えいただけると幸いです。

次の秋号第64号は2024年10月

初旬刊行を予定しています。

また、バックナンバーは品切表示の号も左記の図書館でお読みにいただけます。ご利用ください。

●世田谷区八幡山・大宅壮一文庫  
●世田谷区深沢・日体大世田谷キャンパス図書館

●港区広尾・東京都立中央図書館

●千代田区永田町・国立国会図書館

●港区芝・東京都人権プラザ図書館

●新宿区霞ヶ丘・日本スポーツ協会資料室

### 【理事】

阿部雄輔／五十嵐二葉（弁護士）／池井優

（慶應義塾大学名誉教授）／岡田匡令（淑

徳大学名誉教授）／長田渚左（ノンフィク

ション作家）／笠原一也（日本オリンピック

ク・アカデミー名誉会長）／菊幸一（国

士館大学教授）／佐久間昇二（びあ株式会社

取締役）／重村一（㈱ニッポン放送取締役相

談役）／永井憲一（法政大学名誉教授）／

森林貴彦（慶應義塾幼稚舎教諭）／山口香（筑

波大学教授）／山口良治（京都工学院高校ラ

グビー部総監督）

### 【事務局】

〒359-1192

埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15

早稲田大学スポーツ科学部太田章研究室気付

皆様、ご存じですか？

スポーツゴジラは年4回春・夏・  
秋・冬の季刊で発行。

都営地下鉄・大江戸線・浅草線・  
三田線・新宿線の各駅、全国の  
大学102カ所に設置されています。

スポーツゴジラ®

2024年6月10日発行

第1巻第63号

無断転載・転売を禁じます

企画編集 スポーツネットワークジャパン

長田渚左・阿部雄輔・首藤正徳

波多野圭吾・西本祥子・江川卓実

山内亮治・鈴木希人

制作 有限会社ナトリック

印刷・製本 株式会社美松堂

発行 スポーツネットワークジャパン

お問い合わせは左記まで

特定非営利活動法人

スポーツネットワークジャパン

〒168-0063

杉並区和泉1-40-13-401